

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

紅葉の季節になりました！

暑かった夏も終わり、紅葉が綺麗な**秋**が訪れました。11月号では、自然公園の**紅葉**をすこ～しだけ紹介しちゃいます！！



カラマツ（奥多摩地区）

在来種の針葉樹のうち、カラマツだけが落葉するため、漢字では落葉松と書きます。雲取山山頂付近では10月初旬から色づき始め、下旬に見頃を迎えます。そして見頃の場所は段々と標高の低いところへと降りてきます。東京都では紅葉シーズンの始まりを告げる植物と言えるのではないのでしょうか。



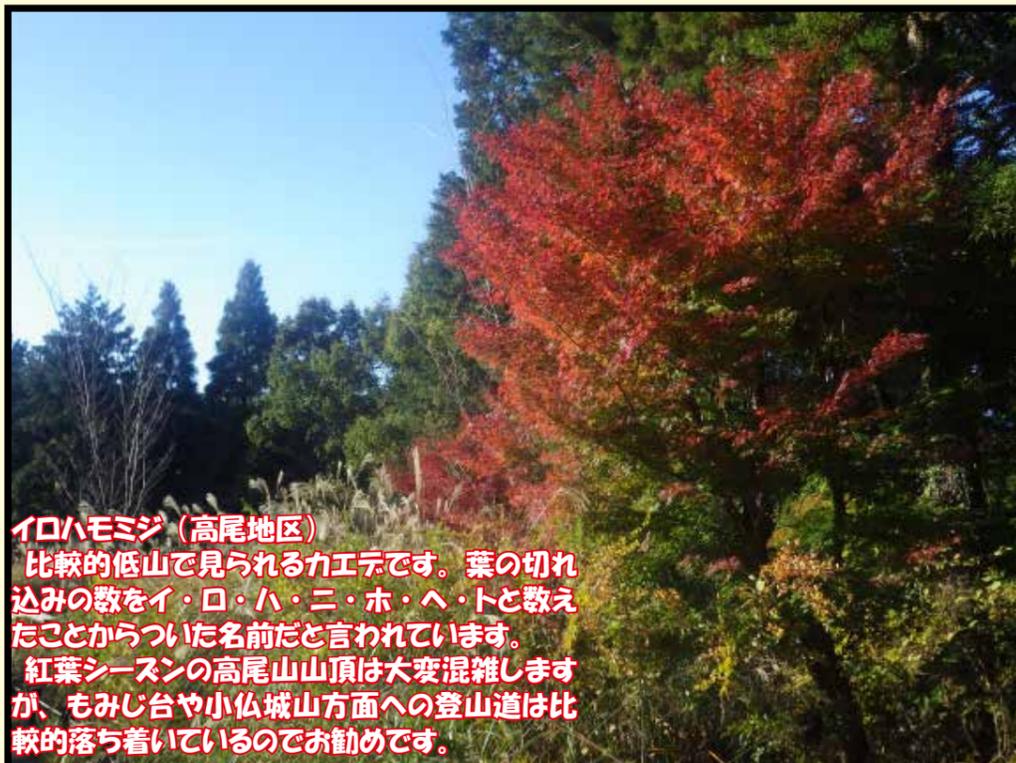
イチョウ（御岳地区）

街路樹などで有名なイチョウ。国内には天然記念物に指定されるほど長寿な樹もあります。御岳溪谷にある玉堂美術館前には一際目立つ大きな樹があります。例年11月中旬に見頃を迎え、イチョウの他にカエデの仲間なども色づくため、観察にお勧めの場所です。



ハウチワカエデ（檜原地区）

別名「名月楓」とも言われ、大きな葉が特徴のカエデの仲間です。条件が良いと真っ赤に紅葉し、とても見応えがあります。標高1000mを超えるフナ林内などで見られます。お勧めの観察場所は、檜原村の三頭山です。



イロハモミジ（高尾地区）

比較的低山で見られるカエデです。葉の切れ込みの数をイ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ・トと数えたことからついた名前だと言われています。紅葉シーズンの高尾山山頂は大変混雑しますが、もみじ台や小仏城山方面への登山道は比較的落ち着いているのでお勧めです。

紅葉の豆知識 ～なんで葉っぱが赤くなるの？～

秋になると、木は冬に向けて葉っぱを落とす準備に入ります。まず、葉っぱと枝との境目に「離層」と呼ばれる壁を作ります。それまで葉っぱで作られて幹や枝に運ばれていた養分は、この壁によって通せんぼされます。こうして葉っぱの中にたまった養分が「アントシアニン」という赤色の色素に変化します。このアントシアニンがたくさんできることで葉っぱが赤く色づきます。なんとも不思議ですね。